

平成 21 年度老人保健事業  
推進費等補助金による  
助 成 事 業

平成 21 年度老人保健事業報告書

高齢者虐待の防止及び認知症介護の質向上に向けた  
教育システムの展開と教育効果に関する研究事業

平成 22 年 3 月

社会福祉法人東北福祉会  
認知症介護研究・研修仙台センター

## はじめに

認知症介護研究・研修仙台センター

センター長 加藤伸司

平成18年4月に「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律（高齢者虐待防止法）」が施行されて、4年が経過しました。同法の施行年度より、認知症介護研究・研修仙台センターでは、養介護施設・事業所において効果的に高齢者虐待がはかられるよう、調査研究を進めて参りました。

当センターでは、それら調査研究事業をもとに、平成21年度事業として『介護現場のための高齢者虐待防止教育システム』の開発を行いました。これは、養介護施設・事業所において、その従事者が背景要因となるストレスマネジメントの問題を含めて効果的に高齢者虐待の防止を図るための、教育プログラム及び教材からなる教育システムです。

本研究事業では、これらの取り組みをさらに継続・発展させるために、開発された教育システムの普及をはかりつつ、その効果検証を行い、さらに効果検証の過程から、施設・事業所単位で実施・分析・活用可能な効果測定ツールを作成する事業を実施いたしました。効果測定ツールは『研修効果測定ツール』という名称で教育システムの新たな資料として加えられています。本報告書と併せてご活用いただければ幸いです。

さらに、高齢者虐待防止の取り組みは、それに特化されたものに終始するのではなく、介護実践における適切かつ基本的なケアの充実・徹底に結実することが肝要であると考えます。その中でも特に近年において、認知症介護の質の向上はもっとも重要な課題といえます。そのため本研究事業では、教育システムの普及や効果測定に関わる取り組みを根幹で支えるものとして、認知症高齢者の基本的な生活を保障するための取り組みを行いました。すなわち、日常生活における障害を解決するための介護モデルを整理し、認知症介護を自己評価するための評価指標の開発です。この成果についても、『認知症介護チェック表』（認知症介護自己評価ツール）として公開いたしましたので、ご活用ください。

本研究事業で実施した調査等においては、さまざまな方々からご協力をいただき、お忙しい中多くの皆様から調査への回答をお寄せ頂きました。貴重な資料が得られましたことを感謝いたします。また、本研究事業を実施するにあたり、関連する諸分野の有識者の方々に、研究事業に関する検討を行うための委員としてご参画いただきました。ここに改めて感謝申し上げます。

本研究事業の成果が、厚生労働省をはじめ、各事業所、行政機関等において現場での取り組みや熱意を支援するための新たな施策の実行に、また養介護施設・事業所を利用する方々やそのご家族の方々の安心に、少しでも役立つことができれば幸いです。

平成22年3月

## 目 次

<b>第1章 研究事業の構成</b>	
<b>I. 目的</b>	<b>1</b>
<b>II. 事業実施の概要</b>	<b>2</b>
1. 研究事業の実施体制	2
2. 研究事業の実施概要	2
<b>第2章 教育システム効果検証・効果測定ツール開発班</b>	
<b>I. 目的</b>	<b>5</b>
<b>II. 教育システム講師養成研修会</b>	<b>6</b>
1. 目的	6
2. 対象団体等	6
3. 開催区分及び開催地等	7
4. 募集方法	7
5. 研修内容	8
6. 実施結果と考察	9
<b>III. 教育システム活用による効果検証実験</b>	<b>11</b>
1. 目的	11
2. 方法	11
3. 研修企画・運営状況調査の結果	13
4. 教育効果測定調査（共通調査項目）の結果	26
5. 教育効果測定調査（高齢者虐待防止・身体拘束廃止）の結果	35
6. 教育効果測定調査（ケアや仕事への態度・実践）の結果	52
7. 教育効果測定調査（ケアの視点と実践）の結果	63
8. 教育効果測定調査（ストレスマネジメント）の結果	87
9. 教育効果測定調査（リーダー対象調査）の結果	95
10. 職場内研修評価調査の結果	107
<b>IV. 研修効果測定ツールの作成</b>	<b>118</b>
1. 目的	118
2. 方法	118
3. 作成された効果測定ツール	118

<b>第3章 認知症介護モデル構築・評価指標開発班</b>	
<b>I. 背景</b>	<b>123</b>
<b>II. 認知症介護評価指標開発プロジェクト</b>	<b>125</b>
1. 目的	125
2. 方法	125
3. 結果	127
4. 考察と課題	134
<b>III. 認知症介護成功事例調査プロジェクト</b>	<b>136</b>
1. 目的	136
2. 方法	136
3. 結果	140
1) 食事拒否課題の成功事例調査	140
2) 入浴拒否課題の成功事例調査	161
3) 排泄誘導拒否課題の成功事例調査	188
4. 考察	212

## 委員一覧

(敬称略・順不同。所属は平成21年度のもの)

### 【プロジェクト委員会 (兼教育システム効果検証・効果測定ツール開発班)】

氏名	所属・役職
長嶋紀一	日本大学文理学部心理学科
高崎絹子	放送大学教養学部生活と福祉専攻
高村浩	高村浩法律事務所
大久保幸積	北海道デイサービスセンター協議会・社会福祉法人幸清会
佐々木勝則	特定非営利活動法人全国認知症グループホーム協会・社会福祉法人桜井の里福祉会
妻井令三	認知症の人と家族の会岡山県支部
梶川義人	日本高齢者虐待防止センター
三瓶徹	社会福祉法人北海長正会 北広島リハビリセンター特養部四恩園
柴尾慶次	社会福祉法人南海福祉事業会 特別養護老人ホームフィオーレ南海
喜井茂雅	有限会社スローライフ
安部博	財団法人さわやか福祉財団
土井勝幸	医療法人社団東北福祉会 介護老人保健施設 せんだんの丘
渡辺達美	宮城県保健福祉部長寿社会政策課
小野寺敦志	国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科臨床心理学専攻
小長谷陽子	認知症介護研究・研修大府センター
加藤伸司	認知症介護研究・研修仙台センター

### 【認知症介護モデル構築・評価指標開発班】

波瀲幸敏	社会福祉法人さつき会 特別養護老人ホーム鷹栖さつき苑
谷本政美	社会福祉法人さつき会 特別養護老人ホーム鷹栖さつき苑
益岡賢示	有限会社プレム・ダン デイサービスおかげさん
喜井茂雅	有限会社スローライフ
秋田谷一	社会福祉法人勲功会 特別養護老人ホーム祥光苑
大久保幸積	社会福祉法人幸清会
保坂昌知	社会福祉法人小樽育成院 特別養護老人ホームやすらぎ荘
池田泉	社会福祉法人愛誠会 特別養護老人ホーム唐松荘

### 【教育システム効果研修・効果測定ツール開発班ワーキンググループ】

菊島勝也	日本大学文理学部心理学科
小長谷百絵	東京女子医科大学看護学部
後藤満枝	仙台大学体育学部健康福祉学科
佐藤佳子	佐野短期大学社会福祉学科
千田睦美	岩手県立大学看護学部 (研究協力者)